



2022年5月4日、5日にインドアホッケーフェスティバル2022を開催する予定です。そのイベントプログラムの一つとしてU12（小学生）のインドアホッケーの大会を計画したいと考えております。大会設計にあたり、どの程度の皆様が参加される見込みかを把握したく、下記のアンケートにご協力をお願いできれば幸いです。イベント、大会の概要は次ページ以降をご参照ください。なお、大会参加料は不要です。

※詳細な要項がないところ恐縮ですが、直感的な回答で結構です。

Q1 もしU12大会が開催されるとした場合の参加見込み（希望）

A. 是非参加したい B.日程、条件が合えば参加したい C.参加しない D.その他

Q2 何か意見、質問、希望等があれば記入下さい（自由記入）

回答先：<https://forms.gle/SiLSBNa2FnWfLRrs9>

または、下記担当にメール

希望回答期限：2022年3月1日

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記にご連絡ください。
JHAスポ少U12担当 小原直也 koharanaoya2017@yahoo.co.jp
JHA技術委員会 近藤聡史 satoshi.kondo@asiahockey.org

(参考資料)

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記にご連絡ください。
JHAスポ少U12担当 小原直也 koharanaoya2017@yahoo.co.jp
JHA技術委員会 近藤聡史 satoshi.kondo@asiahockey.org

We are HOCKEY FAMILY!

インドアホッケーフェスティバル2022

～日本での幕開けイベント～

2022年5月4日・5日(予定)@アリーナ立川立飛・ドーム立川立飛



公益社団法人日本ホッケー協会



【イベント名称】

インドアホッケーフェスティバル2022 ～日本での幕開けイベント～

【主催】

公益社団法人日本ホッケー協会

【特別後援（特別協賛）】

株式会社立飛ホールディングス

【後援】

立川市、一般社団法人多摩スポーツクラブ、JHAスポンサー

【運営主管】

JHAインドア特別委員会

【日時（予定）】

2022年5月4日（土）および5日（日）11:00~16:00（両日）

【場所】

アリーナ立川立飛/ドーム立川立飛（東京都立川市泉町）



【目的】

日本初となるインドアホッケーの幕開けを国内外に宣言し、ホッケー競技の普及に貢献する

【イベントの位置づけ】

- ①日本でのインドアホッケーの幕開けイベント
- ②立川をインドアホッケーの聖地に位置づけ
- ③JAPAN HOCKEY Road to 2030プロジェクトの推進

【イベントコンセプト】

次世代を担う若年層をターゲットとし、
認知→体験→興味→競技開始のプロセスのうち、
体験までを気軽に楽しみながら参加できるプログラムを充実

【目標来場者数】

のべ2,000人

【主要プログラム】

- ①日本インドアホッケー幕開けセレモニー
- ②日本代表クラス選手によるエキシビジョンマッチ
- ③インドアホッケーの体験
- ④U12・マスタース対象の競技会の開催
(スペックは今後検討)

【大会参加料・入場料】

無料

インドアホッケーとは

(参考資料)



- 1チーム6名の選手がスティックを巧みに扱い、相手ゴールにボールを入れあう競技。コートの大さは22m×44m
- 大会の最初に基本ルールや基本動作の説明を行います。
- インドア用スティック、ボール、ハンドグローブは当日貸し出しを行いますので準備は不要です。





←アリーナ立川立飛



←ドーム立川立飛





将来構想 ～立川を日本のインドアホッケーの聖地に！～

- 世界のインドアホッケー
FIH（国際ホッケー連盟：統括団体）構成国数（70か国）
うち、インドア登録数 男子44カ国 女子40カ国
- 主要国際大会
ワールドカップ（4年毎に開催。前は2018年 ドイツ）
アジアカップ（毎年開催。前は2019年 タイ）



• 国際大会の招致

アジアカップ、ワールドカップ

• ユニバーサルスポーツ概念の確立浸透

パラホッケー、ビーチホッケー、フロアホッケーとの
ジョイントイベント、協力体制の確立、



2018年2月にドイツ・ベルリン行われた第5回インドアホッケーワールドカップ決勝戦の様子。8,000人の観客が熱い声援を送った